

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
輪投げあそび	小	グループ学習 高学年ラッコ (国語・算数)	上西宏紀

<ねらい>

- 教師や友達と活動する中で、してみたいという気持ちを膨らませながら意欲的に取り組み、達成感を一緒に感じられるようになる。
- 輪投げあそびのやり方を理解し、教師や友達と一緒に取り組んで楽しむ。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

①絵本『ごりらのごんちゃん』

- ・絵本の読み聞かせを見聞きました。

②輪投げ

- ・絵本に登場するキャラクターになりきって帽子を被ったり、動物の絵が描かれた靴下を腕にはめたりしました。
- ・教師や友達の腕に入るように輪を投げました。
- ・教師や友達が投げた輪を自分の腕に入るように受け取りました。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・絵本と関連付けるために、主人公と同じように帽子をかぶったり、絵本に登場する動物の絵が描かれた靴下を腕にはめたりしました。
- ・輪を相手の腕に入れるというルールをみんなよく理解していました。
- ・初めは上手く投げることができなかった児童も、繰り返すことで相手の腕をめがけて投げられるようになりました。
- ・輪が相手の腕に入ると、みんなうれしそうに笑っていました。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・黄色やピンク色の靴下が売られていなかったため、白色の靴下を絵の具で染めて動物の絵を描きました。

